

# あだたら

第432号  
発行所  
郡山市喜久田町  
あだたら山の会

十一月四日(月)

## 薬師尾根登山道整備

報告・編集部



準備品、スコップ、苅込鋏、篠竹、梯子、草刈機、カメラ入れて17名

十一月四日(月)文化の日の振替休日、ロープウェイ運行の最終日と言う事で、「薬師尾根登山道」整備の日だ。暖かな日で、二本松市のデータで十四時に二十・四℃、磐倉温泉でも十二時に十四・八℃あった。

●編集部連絡先  
二本松市郭内一五五  
0243(22)4245  
FAX可・渡辺 正

登山客も多かった、会員十七名が参加した。前日、会長からLINEに明日の計画が載った。

『明日の作業内容ですが簡単にここで共有します。詳細は明日の朝に説明しますが班分けします。』

① 篠竹運搬ゴンドラ利用して、仙女平分岐、峰の辻分岐手前までの道標にデポ。

② ゴンドラ山頂駅、峰の辻分岐手前までの刈払いこれは明日のお客さんどれくらいいるかで多いなら帰りに木道は作業します。

③ 山頂の古いアンカー切断、勢至平ポルト切断山頂の全く使用していないアンカーを切断して撤去。将来的にはリポルトします。勢至平ポルト切断は一ヶ所だけ危ないのである。

④ 薬師岳木道終点、仙女平での土嚢設置木道終点での土嚢設置は少し上にあると石があるのでそれを麻袋に積めて設置。あとポール、トラロープで区切り置しますが付近に石があまり

りないので、上にある土嚢から入れ替えなどします。

⑤ 五葉松平下の梯子設置曲がってる梯子を撤去して新しく付け替え。行きはゴンドラ利用して、帰りは梯子を持って下がります。



① 篠竹はゴンドラ横に積む



③ 山頂ポルト



① 道標に縛り付けた篠竹



③ 勢至平ポルト



④ 仙女平分岐土嚢袋



④ 木道終点土嚢袋



14時53分、下山1



④ 木道終点土嚢袋



⑤ 12時52分薬師岳山頂出発



⑤ 15時27分 下山2、日陰になっちゃった。



良く晴れて暖かったのが、11月なのに薬師岳山頂の賑わい。



⑤ 梯子交換作業中



十一月二十一日(木)

### 湯川溪谷、丸札道標外し

報告 □□□□ (途中までだったが...)



当日は朝から良い天気、良く晴れて暖かな日、湯川溪谷屏風岩向の「北ハガ場」もよく見えていたので撮影。総員十名は八時五十分には集合写真撮影して出発。途中金剛清水では暑くなって上着脱ぐ人も。丸札の場所では着いたままの写

真撮影、名札の確認、その後丸札外しながらの登高。途中木の葉が落ちていて「名所三階滝」もよく見えた。屏風岩で休憩。一つ目の大作業「荒竜岩下橋」取り外しに掛かる。先ずボルトから外して裏返し、補強の鉄パイプ外す。次に、引

き上げ用のロープ、橋に取り付けて、引き揚げ実施、立木に固定して終了。この上の荒竜岩橋。渡った向うで、川に沿って登る。知らない人は橋渡って「道形ついて任舞っている」向かい側の崖をまっすぐ登る、声掛けて引き替えさせた。来年は案内のロープ張らないと。このあたりから私の体がわかしくなってきた、足が上がりたと言ふより、体が全体が動かないのだ、極端な疲労状態。歩きが遅くなったので、一人になってしまった。漸く精進所跡で追いついた。そこで訳を話

して、一人で下山した。十四時三十分、塩沢スキー場着、みんなを待っていたようかとも思ったが、疲れ暗くてそれも出来ず、帰宅するしかなかつた。他の人達も無事に下山、一番から三十番まで並べて撮影。解散したとの事だった。



橋を上流荒竜岩側に納めた



橋の裏側に、補強用の鉄パイプ付いている、重いので外す。



荒竜岩橋向の誤りルート

市民交流センターの大山忠作美術館で徳絵展開催された。私のパソコン内を検索したら、写真があった。元会員□□□□さん作成のものらしかった。美術館の学芸員□□□□さんに見て貰ったら、初めて見るという。十一月六日午後、元会員□□□□さん宅に伺った。写真集見て貰ったら、□□□□さんが纏めたものだった。会報などに使って良い、美術館にも渡して良いという了解頂いた。九日(土)に美術館に伺って、お客さん一杯いたが、学芸員□□□□さんに□□□□さん紹介した。写真は二枚だけ公開します。

### 一九八三年六月六日(四十一年前) 大山忠作画伯と安達太良山

報告 □□□□



薬師岳山頂で

九月二十九日(日)、十月二十日(日)の僧悟有登山道整備(五葉松平編)報告 □□□□

□□□□さんより九月二十九日の笹平登山道整備の報告で、薬師岳より五葉松平コースをお願いしますと、十月二十四日に電話在りましたので、報告させて頂きました。

参加者全員ゴンドラで薬師岳へ、薬師岳五葉松平三人組の他は全員笹平へ向かう。□□□□、□□□□、□□□□が残り、薬師岳より刈払いを行う。今回は五葉松平まで重点にやる事を申し合わせた作業、十時小休憩、十一時四十五分までやり、屋敷休憩の良い場所がないので五葉松平まで下がり、約一時間の休憩。五葉松平より薬師岳へ登りながらの刈私となる。三時頃のゴンドラで下山する事にして作

業するが疲れもあり午前の作業終わりまで、少し残ってしまう。今日の残り十月二十日の五葉松整備の時にやる事にして作業終了。十月二十日、ゴンドラで五名薬師岳へ向かい、他草刈機組は下からの作業となる。私達五名は前回の残り刈払い、五葉松薬師岳までの間はカサをさしても歩ける位の登山道になったと思う。五葉松平下も刈払いしながら下ると□□□□さん登って来て、七人での作業となる。下からの草刈機組より下山するとの連絡有り私達も下る。スキー場に参加者全員が無事下山、会長挨拶で解散となる、お疲れ様でした。(写真は先月号に掲載)



くろがね小屋の前で



十月十四日(月) スポーツの日  
個人山行・鬼面山下レッキング

報告 □□□□



朝九時出発、友と合流、土湯道の駅より旧道を久しぶりに通り、野地温泉へ。途中、ガスでライトを付けてる事もあったが、野地に着いた時はすっかり晴れ上がる。十時二十分新野地よりぶなっこ路を登る。色付き始めた鬼面山斜面、休憩を取りながら登る。山頂十二時十五分風もなく暖かくなく寒くもなく、見晴しも最高である。いつもの所で昼食と行く先客が。場所を変えての昼食タイム。一時二十分先客も同じ時間に下山。途中見た事のある人で「福島の□□さんですか?」と声を掛けると、相手も思

メットの□□です」というと思ひ出してくれた。□□さんは鬼面山、箕輪山の登山道の整備をボランティアで個人でやっている方で、鬼面山で何回か会っている人。今日は友との山行であり、郡山の九十五歳の人も一緒に登る事である。何歳ですかと声を掛けられ私八十四歳という、十歳くらい若いと言われた。若い時や今の話など楽しいひとときを過ごす事か出来、楽しい山行となった。下山後土湯トンネルをぬけると、道の駅近くでの交通事故の渋滞で帰宅時が予定時間より遅れたが、無事帰宅する事が出来た。

十月二十七日(日)  
個人山行・羽山下レッキング

報告 □□□□



南戸沢、南口の林道、米石羽山線入口に車を止め、林道歩き約一時間、終点の鳥居に着く途中、大雨で林道の一部が流され、車一台が通れる位になっている。十時十分山道に入る。岩場の階段百段の階段が続く。右側にロープもあり頼りになる。元は草原だったが、今は山ツツジなど大きな草、草原は少ない。北口から林道終点、ここまで車も上がる事が出来る。山頂は近い。倒れかかっている鳥居、祠がある山頂である。山頂岩場からは三六〇度のパノラマを楽しめる。一人の男性、無線機で楽しんで居る。北は岩手県、南は富



ガンコウラン 10月25日

十一月二十九日(金)  
県山岳遭難対策協議会表彰



感謝状を受けるさん

さんらに感謝状

山岳遭難の事故防止

福島民友新聞の記事

県山岳遭難対策協議会は二十九日、福島市で総会を開き、山岳遭難事故の未然防止や捜索救助活動に大きく貢献したとして□□□さん(あだたら山の会)に感謝状を贈った。同協議会副会長の□□□(県観光交流局次長が、遭難救助訓練や遭難対策としての登山道整備作業などに積極参加している□□□さんに感謝状を手渡した。山岳遭難事故の未然防止などに十年以上貢献している□□□さん(白河山岳会)も感謝状の受賞者となった。(以下略)

十一月二十三日(土) 勤労感謝の日、写真だけ  
装備点検、さん宅(山の会倉庫)

報告 事務局



在庫の確認、数量点検中



装備点検に参加された皆さん

◆大山忠作画伯のくろがね小屋前の写真、左端は、□□□□□□□□□□さん、一人おいて赤い服が故大山忠作画伯、その右は□□□□□□□□□□さん、一人おいて右端は□□□□□□□□□□さん。画伯の線の道具など、□□□□□□さんが背負ったという。薬師岳山頂、木が大きくない。◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記  
四三二号

◆薬師尾根登山道整備の日、当会会員の参加者十七名も多かったが、登山客等お客さんも多かった。例年なら初冠雪も降り、登山客はいないか、いても数名、今年は正に「紅葉の最中」の気候、だったので、運行最終日の筈なのに、ロープウェイも満員、薬師岳山頂も人が多かったし、九時二十五分に山頂望遠撮影したら十人程の登山客がいた。実はロープウェイは土日だけだが今後も運行するらしい。来年は今年並か、もっと暑い時期続くのか。◆今日は十二月四日(水)、まだ暖かな日だ。今晚から冷えるらしい、新人歓迎登山の黒森山の日七土日曜日、大雪らしい。安達太良山の初冠雪は十一月八日だった。